



2026年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社エックスネット
代 表 者 名 代表取締役社長 茂谷 武彦
(コード番号 4762 東証スタンダード)
問 合 せ 先 管理本部上席執行役員 坪田 浩司
(TEL 03-5367-2201)

新中期経営計画骨子の公表、配当政策の策定および 株主優待制度継続に関するお知らせ

当社は、2026年度を開始年度とする新中期経営計画「Next STEP 2029」の骨子を策定し、2026年4月30日開催の当社取締役会にて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、新中期経営計画期間における新たな配当政策の策定および、株主優待制度を継続することについて、同じく2026年4月30日開催の取締役会にて決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 新中期経営計画骨子の公表について

2025年度(2026年3月期)を最終年度とする前中期経営計画の成果を踏まえ、持続的な企業価値向上を実現するため、新たに2026年度から2029年度までの4か年を対象とする新中期経営計画「Next STEP 2029」の骨子を策定いたしました。詳細については、添付資料をご参照ください。

2. 新たな配当政策の策定について

配当性向目標を50%~100%とし、配当をベース配当(基準配当)とエクストラ配当(追加配当)に分け、安定的な株主還元とBSマネジメント強化の両立を目指す、新たな配当政策を掲げることといたしました。詳細については、添付資料をご参照ください。なお、この政策により、2027年3月期の配当は合計で70円とする予定です。

3. 株主優待制度の継続について

前中期経営計画期間(2022年4月1日~2026年3月31日まで)に合わせ制度導入いたしました株主優待制度につきましては、新中期経営計画期間(2026年4月1日~2030年3月31日まで)においても、同様の内容にて継続することといたします。詳細については、添付資料をご参照ください。

以上



骨子

株式会社エックスネット

中期経営計画書

Next STEP 2029

2026-2029年度



資産運用業界に新しい価値を生み出し、
社会の今と未来を支える



1

前中計の振り返り

1-1. 前中期経営計画（2022-2025年度）の総括

コア売上高	営業利益率	ROE
26/3期目標 50 億円 49.3 億円	26/3期目標 15.0% 18.0%	26/3期目標 8.0% 17.6%

2022-2025年度の主要な取り組み

1. 中長期的なサービス拡大

SOサービスを
4社目の生損保会社に導入
他業態にも対象資産を拡大し展開実施

2. アプリケーションサービスの拡大

当社単体サービスだけでなく、
他社連携した複数サービスをリリース
26/3期よりTo NtSaaS連携、OmegaFS連携を提供開始

3. コア売上高の拡大

**既存/新規顧客への
各種サービス**の提供開始
により計画期間**+約5.5億円**

4. 人財戦略

報酬改善
(賃金改善・株式報酬制度の導入)、
継続育成

5. システム投資

OS更改対応、
UI*の刷新

*UI = ユーザーインターフェース

前中期経営計画から見えてきた課題

更なる資本効率化の課題

人財採用の課題

1-2. 2026年3月期の実績

コア売上高は49.3億円となり、わずかに目標未達

営業利益率は18.0%、ROEも17.6%と、目標水準を上回る結果となっております

前中期経営計画期間

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
売上高	54.1 億円	53.5 億円	55.4 億円	53.0 億円	56.5 億円
コア売上高	43.8 億円	44.3 億円	45.8 億円	47.1 億円	49.3 億円
営業利益	9.6 億円	9.5 億円	10.6 億円	8.6 億円	10.2 億円
営業利益率	17.9 %	17.7 %	19.2 %	16.2 %	18.0 %
ROE	9.8 %	8.9 %	9.0 %	10.2 %	17.6 %

2025/3期に対して
4.7%増加

目標 15.0%に対し
+3.0pt

目標 8.0%に対し
+9.6pt

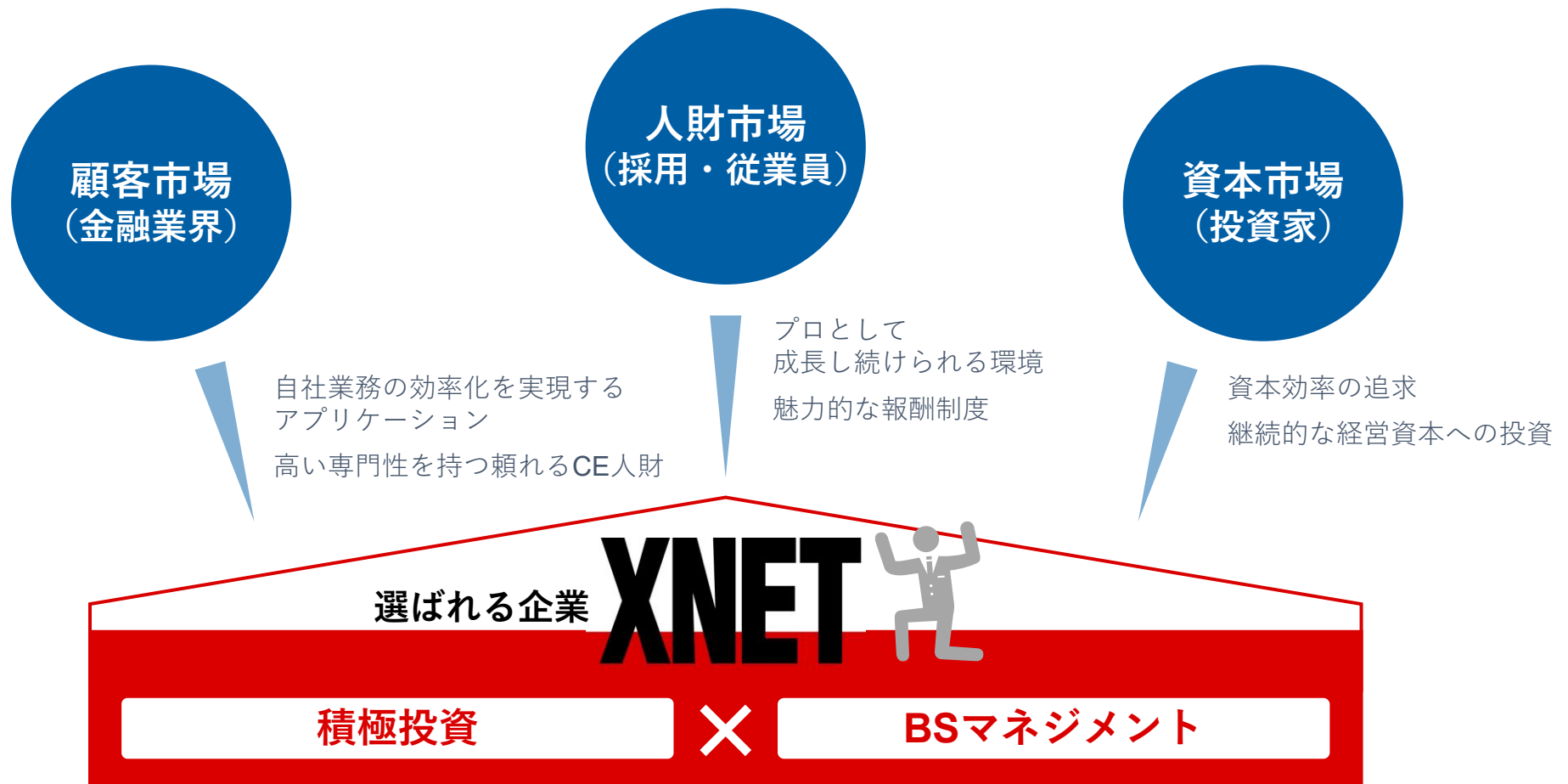
2

新中期経営計画の概要

2-1. 新中計“Next STEP 2029”のコンセプト

3つの市場（顧客市場・人財市場・資本市場）から選ばれ続ける企業になるため、経営資本への投資とBSマネジメントの強化に取り組みます

長期的に利益創出ができる組織になるため、この4年間は人財投資・システム投資を積極推進するとともに、戦略的な株主還元を行って参ります



2-2. 価値創造プロセス

人財とシステムへの投資により、資産運用業界のインフラ企業としての役割を拡大・加速させ、お客様・人財・株主・社会に価値を生み出すと共に、獲得した利益を更なる成長の原資として還元しています

パーパス：資産運用業界に新しい価値を生み出し、社会の今と未来を支える

INPUT

人財投資

- 賃金改善
- 人財育成
- リテンション施策
- インセンティブ強化

システム投資

- ① 守りの投資
=サービスの品質維持
- ② 攻めの投資
=サービスの付加価値向上

BUSINESS

アプリケーション
ソフトウェア
の提供



CE

豊富なノウハウ
を持つ専門人財

AMO

システム運用
受託

SO

業務プロセス
受託

資産運用業界のインフラ企業として
「新しい仕組み」や「新しい価値」を創造し、
ワンストップで機関投資家の
フロント／ミドル／バック業務を支える

OUTPUT & OUTCOME

お客様

- ▶ 業務の効率化
- ▶ コア業務への集中

人財

- ▶ CEとしての成長（スキル向上）
- ▶ 社員とその家族の幸福

株主

- ▶ 積極的な配当
- ▶ キャピタルゲイン

社会

- ▶ 「資産運用立国」への貢献
- ▶ 人生100年時代に対応した
資産形成の実現

経営目標

▶ 詳細次頁

コア売上高

調整後
営業利益

ROE

OUTPUT・OUTCOMEを成長投資の原資として還元

2-3. 経営目標

30/3期にコア売上高 56億円の創出と、人財・システムへの積極的な投資による調整後営業利益 38億円、その他配当政策等の結果としてROE 15.0%を目指します

30/3期 経営目標



調整後営業利益：

- ▶ 調整後営業利益は、通常の営業利益に人財投資額（人件費）とシステム投資額 [減価償却額] を足し戻して算出しております
- ▶ 当社の将来キャッシュフローを最大化するにあたり、人財とシステムには戦略的かつ継続的な投資が必要であるため、両投資額を包含した調整後営業利益を経営目標に決めました

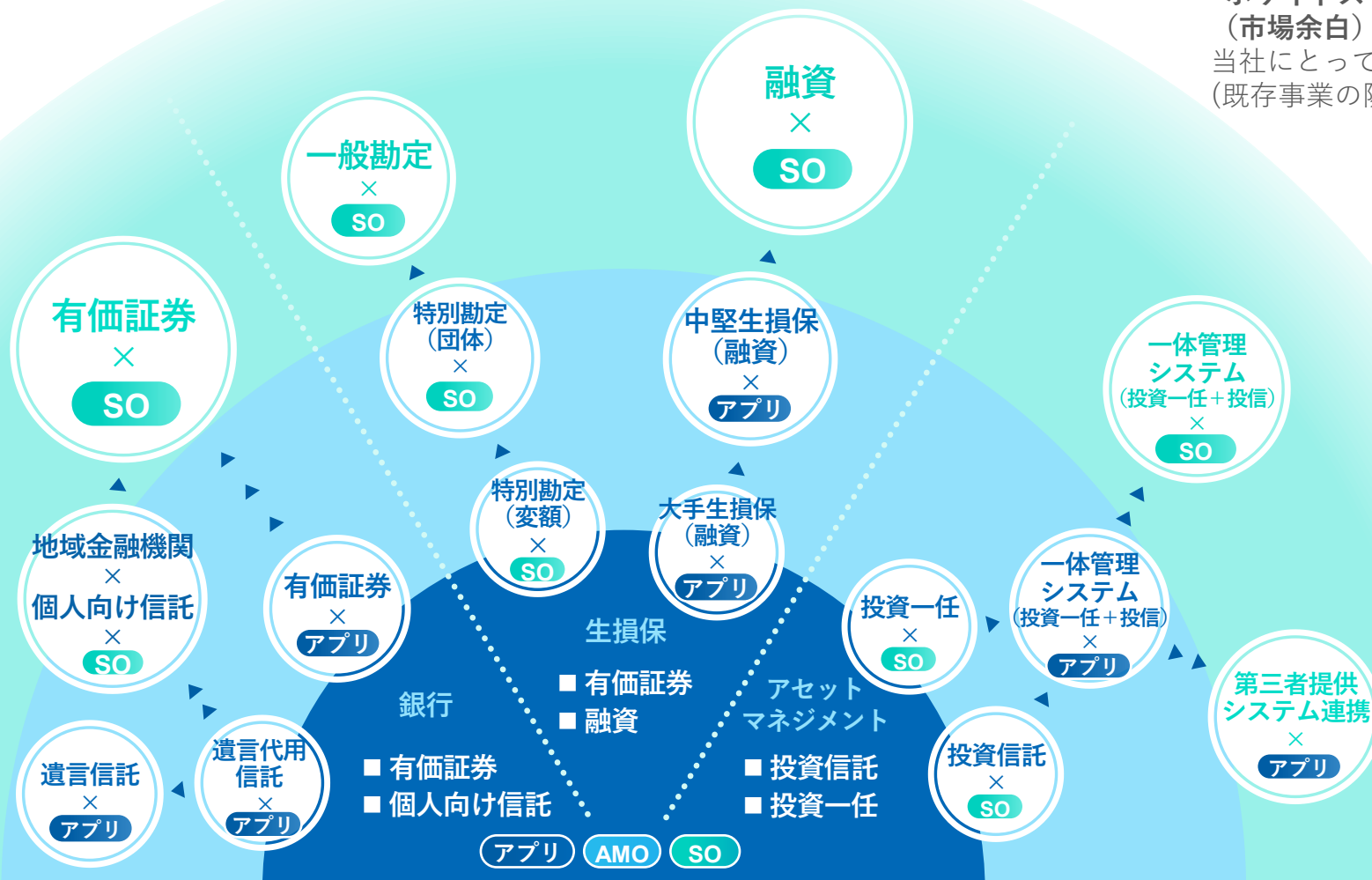
※当社では、通常は費用として計上される人件費を「無形資産への投資」と捉え、これらを利益に足し戻した指標を「調整後営業利益」と定義しています
これは、当社のビジネス特性上、長期就業により経験とノウハウを蓄積させた社員が、マネジャーやスペシャリストとして新たな事業領域への展開をリードし、結果的に将来CFの最大化を実現していくとの考え方に基づいています

2-4. 成長ストーリー（中期～長期）

中長期にわたる成長ストーリーとして、アプリ・AMO・SOの更なる拡大を目指します

新中計期間にも、銀行・生損保・アセットマネジメント業界におけるホワイトスペース*を積極開拓します

*ホワイトスペース
（市場余白）：
当社にとっての未開拓領域
（既存事業の隣接領域も含む）

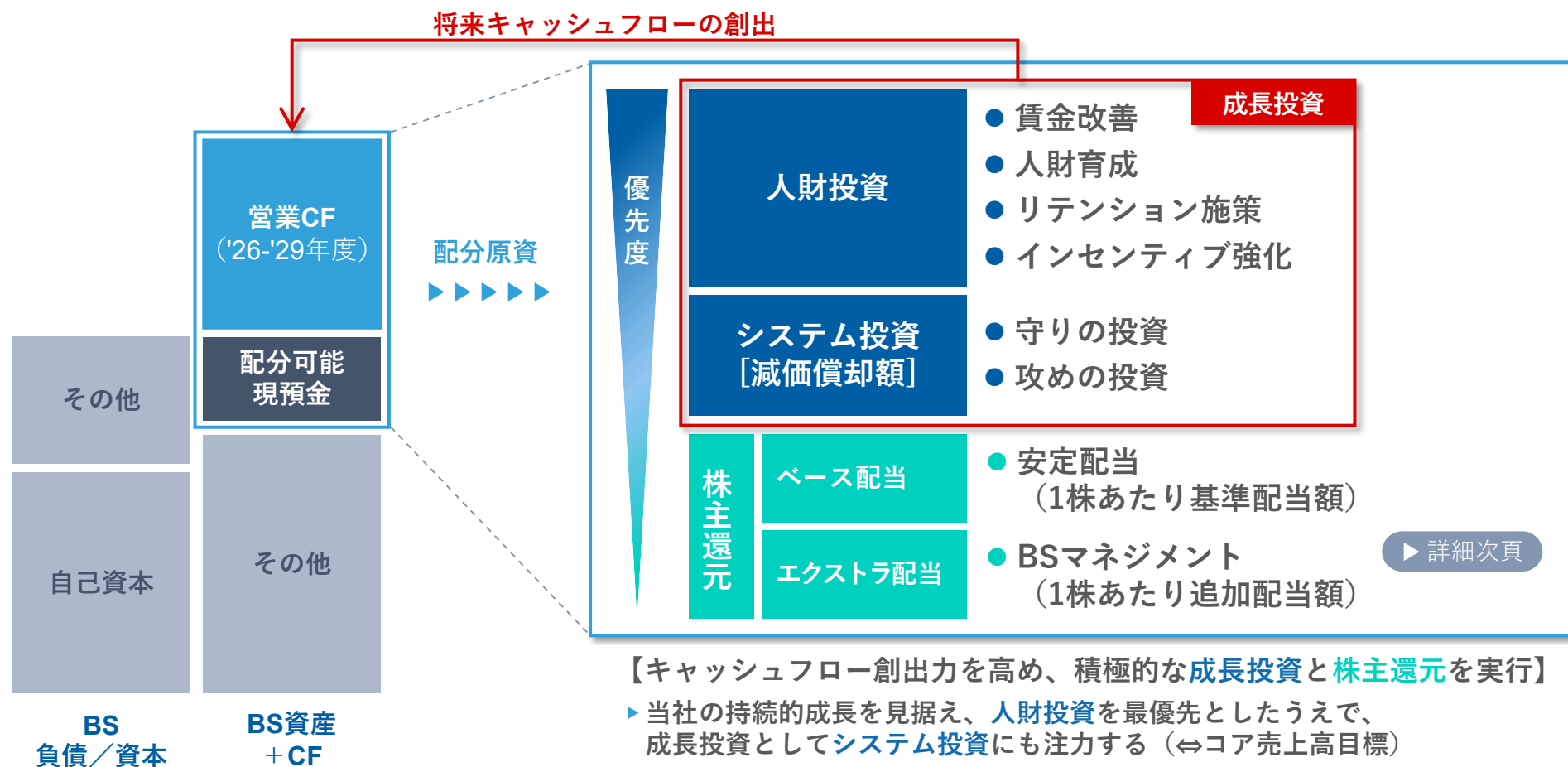


2-5. キャピタルアロケーション

成長ストーリーの実現のため、戦略的・継続的な人財投資とシステム投資を行います

また、BSマネジメント強化のため、安定配当に加え、資本構成適正化のための追加配当も検討します

キャピタルアロケーション イメージ図 (2026 - 2029年度)



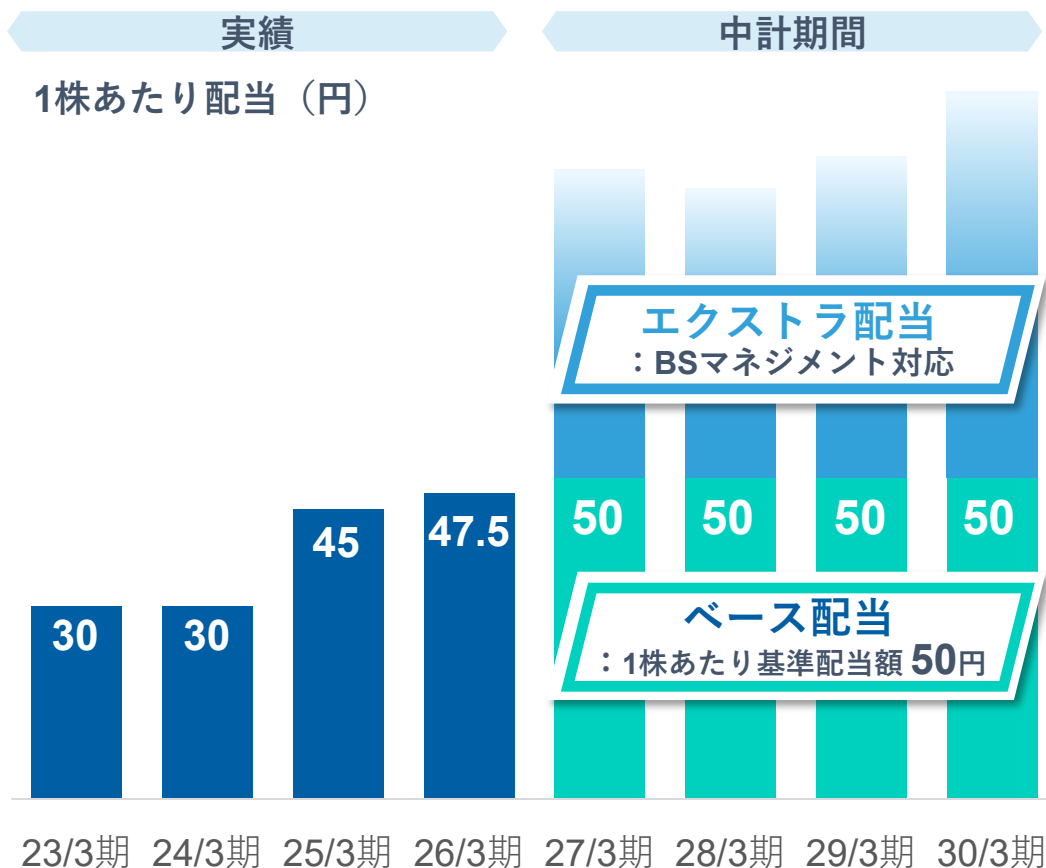
【キャッシュフロー創出力を高め、積極的な成長投資と株主還元を実行】

- ▶ 当社の持続的成長を見据え、人財投資を最優先としたうえで、成長投資としてシステム投資にも注力する (⇔コア売上高目標)
- ▶ さらに株主還元として、一定のベース配当を安定的に行うことに加えて効率的なバランスシート構築の観点でエクストラ配当を実施する (⇔ROE目標)

2-6. 株主還元方針

当社の配当をベース配当（基準配当）とエクストラ配当（追加配当）に分け、安定的な株主還元とBSマネジメント強化の両立を目指します。26/3期の配当（1株あたり47.5円）に対し、ベース配当は1株あたり50円とし、エクストラ配当により更なる還元を行う計画です

ベース配当とエクストラ配当のイメージ（単位：円）



株主還元方針

配当性向* 50%～100%を目安とする

配当種類 2種類とする（ベース+エクストラ）

加えて、株主向けに以下3点の取り組みを開始

- ① **早期の配当支払**
期末配当は株主総会議案とせず、取締役会で決定し、速やかに支払う
- ② **配当の事前公表**
配当（ベース・エクストラ）は、権利付き最終日より前に公表する
- ③ **早期の優待配布**
6月上旬の招集通知に同封予定（詳細は次頁参照）

**安定的な株主還元と
BSマネジメント強化の両立を目指す**

*配当性向は、信託保有株式（J-ESOP、BBT-RS）向け配当を含む配当金総額を基準として算定

2-7. 株主向けの取り組み – 株主優待制度の継続 –

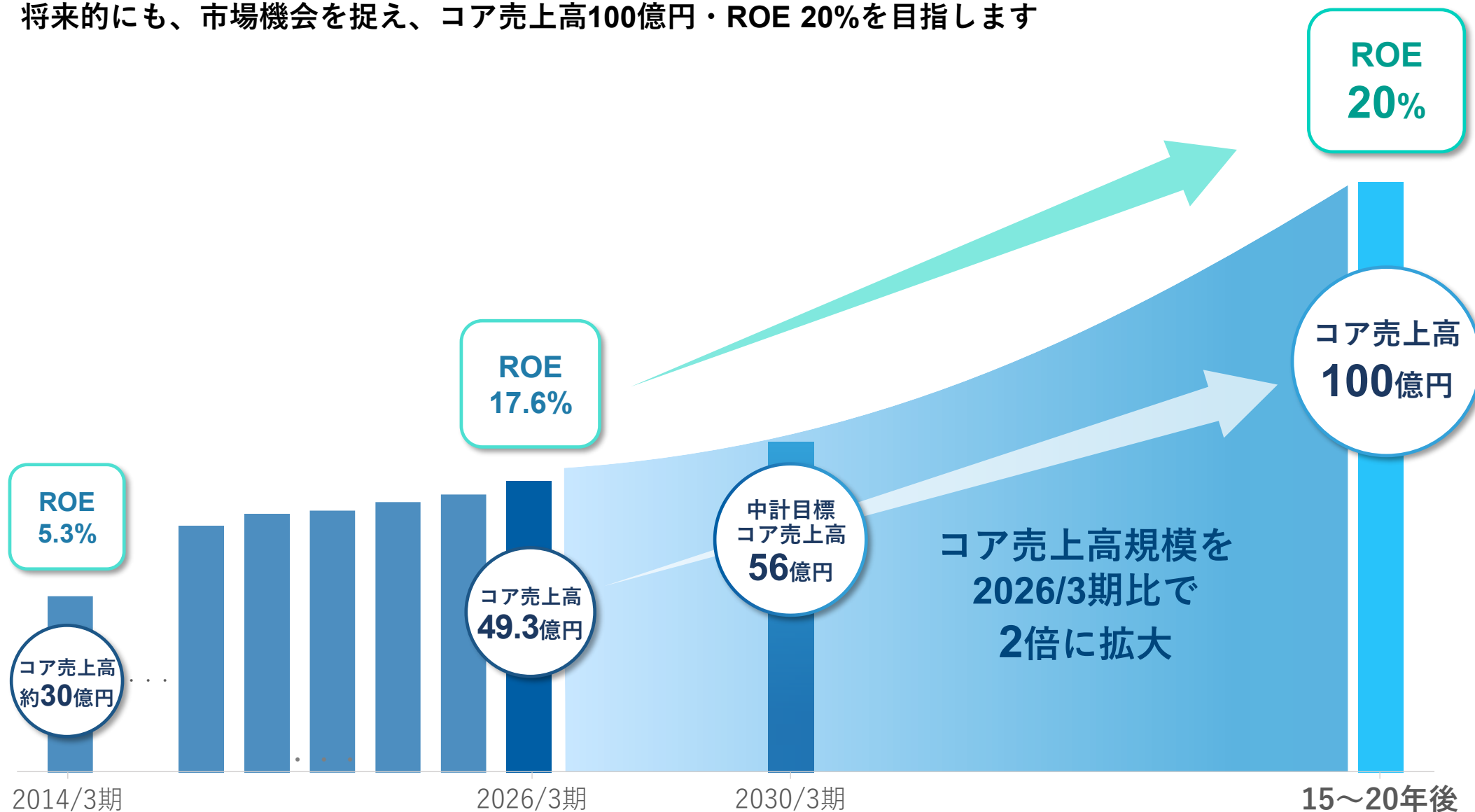
株主の皆様の日頃からのご支援に感謝の気持ちを表すとともに、引き続き中期経営計画に対するご理解を深めていただき、中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を継続いたします


株主優待制度の内容

実施期間	中期経営計画の期間（2026/4/1～2030/3/31）に合わせて実施					
対象となる株主	上記実施期間中における毎年9月末日および3月末日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主					
優待内容	対象となる株主にクオカードを贈呈	<table><thead><tr><th>保有株式数</th><th>優待内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>1単元（100株）以上</td><td>クオカード500円分</td></tr></tbody></table>	保有株式数	優待内容	1単元（100株）以上	クオカード500円分
保有株式数	優待内容					
1単元（100株）以上	クオカード500円分					
贈呈時期	<ul style="list-style-type: none">9月末日現在の株主：11月下旬～12月初旬にお送りする「中間報告書」に同封予定3月末日現在の株主：6月上旬にお送りする「招集通知」に同封予定					

2-8. 長期ビジョン Core 100

これまでも当社は業界や顧客への貢献に注力し、持続的成長を遂げてきました
将来的にも、市場機会を捉え、コア売上高100億円・ROE 20%を目指します





(免責事項)

- 本資料には将来計画や業績予測、戦略、方針、見込み等に関する記載が含まれます。
- これらの将来予想に関する記載は、資料作成時点で入手可能な情報及び一定の仮説に基づいて判断したものであり、今後、経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他の内部・外部要因等により変動する可能性があります。
- 従って、本資料の情報の確実性を保証するものではありません。
- これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。
- 当社は、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

XNET お客様とコラボレーションしながら、成長し続けられる
eXcellent Company へ